

大明教育 実践の評価

◆ 2学期の実践の評価を踏まえ、3学期の課題を明らかにする。

◆ 小中連携及び学校・家庭・地域の連携・協働の場を探る。

<評価方法について>

◇ A-よい B-ふつう C-改善が必要 の3段階で評価

◇ 評価者の職種によっては評価できない項目もありますので、その場合は空欄にしないで斜め線を記入すること。

◇ 「気づいたこと」には、率直なご意見を記述してください。特にC評価については改善方法等を具体的に書くこと。

評価項目	評価		
	A	B	C
1. 教育目標について			
① 学校教育目標・具体的行動目標は適切だったか。「自ら考え 活動する 心豊かな子ども」(〇あいさつのできる〇きまりが守れる〇すすんで学習できる〇思いやりがもてる)	2 2	4	0
② 学校教育目標が学年学級経営や教科指導に具現化されているか。	2 2	4	0
③ 学校教育目標や具体的行動目標が児童や父母に理解されるよう配慮されているか。	2 4	2	0

(考察)

- ・学校教育目標・指導重点は適切で、それらが学年・学級経営や教科指導に具現化されていると考える教職員がほとんどである。
- ・学校教育目標や経営方針が児童・保護者に理解されるよう配慮されているという設問は、A評価が非常に多い。

(改善点)

- ・これからも学校教育目標や指導重点が児童や保護者に理解されるように、全校集会、学校便り、学年通信、ホームページ等で発信していく。

評価項目	評価		
	A	B	C
2. 経営・組織			
① 学校運営に関する連絡・調整はスムーズか。	2 3	3	0
② 職員会議は学校運営に適切に機能しているか。	2 3	3	0
③ 学年打ち合わせが十分できているか。	1 8	8	0
④ 研究主題は、学校課題に合った適切な内容であったか。	2 3	3	0

(意見)

- ・研究主題は、本校の子どもたちの実態に合ったものだと考える。今後も表現する意欲の向上や力の育成を目指した授業づくりを意識していく。
- ・職員会議で提案するような内容が、終礼に提案されることがあると感じている。職員会議で提案していただくと、資料が整理しやすく、翌年の担当も取り組みやすいのではないのでしょうか。
- ・終礼で行っている内容があり、職員会議の議題に上がっていないために、翌年に担当が変わると気づかずにいるものがある。終礼で行う自体はよいが、職員会議の議題に確実にしておく必要がある。

- ・終礼は、週1回もしくは2回が可能ではないでしょうか。職員会議の資料も電子媒体に変更できないでしょうか。

(考察)

- ・学校運営に関しての連絡・調整や職員会議については、スムーズで適切に機能していると考え教職員が多い。
- ・研究主題は、本校の課題に適切なものであると考えている教職員が多い。
- ・学年の打ち合わせについては、忙しい中なかなか時間調整が行えず、十分にできていないことが分かる。

(改善点)

- ・職員会議の議題と終礼の議題をはっきりとし、次年度の担当がわかりやすく提案できるように基本は職員会議での提案に変えていく。
- ・終礼については、週2回（月曜日・金曜日）に行い、急な連絡は入り口に掲示する。
- ・職員会議資料を電子媒体にすると良い面もあるが、次年度の引き継ぎ資料としては、紙媒体も必要である。
- ・学年打ち合わせの時間を少しでも確保するため、水曜日の終礼をなくし、学年打ち合わせに時間に充てる。

評価項目	評価		
	A	B	C
3. 教育課程 (1) 全般			
① 教育課程に本校の特色は生かされているか。	2 5	1	0
(2) 各教科・総合的な学習の時間			
② 教科指導は、教材研究・事前の準備等を行い、わかる・楽しい授業に心がけたか。	2 0	3	0
③ 創意工夫のある授業実践を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたか。	1 2	1 1	0
④ 各教科の授業時数は確保できているか。	1 7	6	0
(3) 道徳			
⑤ 教科や他領域との関連に考慮がはらわれているか。	1 5	7	0
⑥ 道徳的実践・道徳性などが高められていると思うか。	1 1	1 1	0
(4) 特別活動（学級活動・児童会活動）			
⑦ 学級活動は、自主的・自発的に運営されたか	1 5	7	0
⑧ 児童会活動は、自主的・自発的に運営されたか。	2 3	2	0
(5) 学校行事			
⑨ 学校行事は適切に計画的に実施されているか。	2 3	3	0
⑩ 学校行事は、学校生活に活力を与えるよう計画運営されているか。	2 5	1	0

(考察)

- ・学校行事は適切に計画・運営されていると考え教職員は多い。また、教育課程に本校の特色が生かされていると考えられる。
- ・教科指導については、事前の教材研究・事前準備を行い、わかる・楽しい授業を心がけ授業を行っているが、それに比べ児童の自ら学ぶ意欲や態度が育ったかについては評価が低い。
- ・道徳については、他の教科や領域との関連、児童の道徳性が高められているかという設問には前期よりA評価が多くなった。
- ・特別活動の学級活動は、自主的・自発的な運営にやや課題があるが、児童会活動は、自主的・自発的な活動

になっていると考えられる。

- ・学校行事については、適切に計画・運営されていると考えられる。

(改善点)

- ・特別の教科 道徳は、引き続き「考え、議論する道徳」に向けた授業づくりを進めていく。また、道徳と他の教科・領域の関連を意識して、計画的に行っていく。
- ・評価が低かった自ら学ぶ意欲と態度を育てることについては、学校全体で話し合い、さらなる創意工夫を行っていく。
- ・特別活動については、これからも引き続き児童が自発的に運営できる場面を増やしていく。

評価項目	評価		
	A	B	C
4. 学級経営・生徒指導			
① 児童との心のふれあいを深め、豊かな人間関係を築く学級づくりに取り組めたか。	17	6	0
② 職員が共通理解をもち生徒指導を推進しているか。	20	6	0
③ 支援委員会を中心とした支援は適切に行われたか。	24	2	0

(意見)

- ・支援学級の児童の指導に、管理職・教務主任等入っていただき、児童の様子を知ってもらえてよかった。

(考察)

- ・どの項目もA評価がB評価を上回っている。生徒指導上の問題については、共通理解が図れるように情報交換を常に行っている。また、支援が必要な児童に対してもコーディネーターを中心に適切な支援が行われている。

(改善策)

- ・気になる子への対応は担任だけでなく、学校全体による「チーム」で対応していく。さらに情報交換を密にとり、全職員が主体的に関われる体制をつくっていく。また、必要に応じて外部機関に入ってもらおうよう要請する。

評価項目	評価		
	A	B	C
5. 家庭・地域社会との連携			
① 授業参観・懇談会は適切だったか。(回数・内容・出席率)	21	5	0
② P T A 活動は目標達成のため計画的に展開されているか。	23	3	0
③ 児童の登下校時において安全が確保されているか。	18	8	0
④ 学校応援団を有効に活用できたか。	22	4	0

(意見)

- ・学校支援ボランティアの方に来ていただき、学習効果を上げられたと実感している。これからも積極的な活用を続けていきたいと考えている。
- ・授業参観と校内研究会(拡大校内研)の時期が重なっているが、日程的にも厳しいので、そういった場合には授業参観がなくてもよいと思う。
- ・集団下校であっても、校庭から門に行く間に、班がばらばらになっている班がある。集団下校時、教師の街頭指導も必要。

- ・ベストやタスキを身に付けてくださっている方をよく見かける。子どもたちの登校を見守ってくださっている方もいて、ご家庭や地域の方々の意識が高まっているように感じている。

(考察)

- ・授業参観・懇談会は適切であったと答える教職員が多い。また、PTA活動は計画的に展開されていると考える教職員が多い。
- ・児童の登下校、特に下校については課題があると考えられる
- ・学校応援団の活用については、有効に活用できたと考えている教職員が多い。

(改善点)

- ・行事（授業参観等含む）については、再度その目的・在り方を共通理解したうえで検討実施していく。
- ・集団登校指導・下校指導をさらに徹底し細かい所まで配慮できるようにする。
- ・学校応援団については、引き続き協力者を増やしていく。

評価項目	評価		
	A	B	C
6. その他			
① 子どもたちは、あいさつができていたか。	1	24	1
② 給食中の過ごし方やマナーに問題はないか。	14	9	1
③ 清掃指導にしっかり取り組めたか。	20	5	0
④ 読書意欲を高めるような指導ができていたか。	19	6	0
⑤ 保健指導がしっかりできていたか。	20	5	0

(意見)

- ・玄関でのあいさつはできているが、それ以外の場所ではあいさつが少ない。
- ・給食のマナーや過ごし方は良くない子がいる。
- ・言葉遣いが悪い、乱暴な子が気になる。
- ・複数の友達と一緒にいる時に、誰かがあいさつをすれば自分はしなくていいと思っているように感じることもある。一人一人が、目と目を合わせてあいさつができるように、引き続き声かけや取り組みが必要。

(考察)

- ・あいさつは、B評価がほとんどである。あいさつが課題と考える教職員が多い。
- ・給食中の過ごし方やマナーは、1学期に比べ少し改善された。
- ・清掃指導についても1学期に比べ改善されてきている。

(改善点)

- ・いつでもどこでもあいさつができるように、全校で計画的に家庭・地域も巻き込む中で指導を行っていく。
- ・食事のマナーの向上を重点的に取り組めるよう計画・実行していく。
- ・清掃について、子どものがんばりを認め励ます働きかけを全校的に行う。